

高退協ニュース

高退協事務局

1985. 5.

No. 25

・ごあいさつ
・原点をみつめて
・定期総会開かれる
・新会員の紹介
・決算報告書
・会費納入のおねがい
・事務局長
・山崎博幸
・三橋

ごあいさつ

事務局

新緑さわやかに五月の薫風！
暮しよ季節となりました。今年退職された十六名の皆さん長い間ご苦労さんでした。高退協も総数一九九名の組織に成長しました。「健康は富に優る」の藤どおり、会員諸兄のご社務を先づ祈念します。

一九四五年原爆が投下され、敗戦の苦汁をなめつくした、青春の悲惨な体験から、戦後の民主教育の理念を正しく把握して、反動文教政策ときびしく対決した長い歳月の第一線を退いたものの、日本の老後には古老の閑居は決して許されないものがあります。

年金法・老人医療法の改悪、臨教審の魔手による教育破壊、更に重大なるもの、五万個に及ぶ核兵器の貯蔵、地球環境の人類最大級の悲劇が危惧される八十年代です。

高退協は高教組OBたちの友情と連帯のささやかで理でもありません。生あるかぎり、実在する課題は使命感を追求し、その解決をはかるべきです。

全会員の皆さん、健康に留意して健やかに長寿を築き、二十一世紀の新風を一筋に求めて、牛歩悠々闊歩して前進しましょう。

原点をみつめて

高教組委員長 南千加良

四十年たつて、戦後とは何だっただか、またあらためて考えさせられます。

日本をアメリカの核の楯にしよと、「教育勅諭」といつわって「教育勸諭」の復活を企て、「自由化」と称しては教育を企業の手にゆだねようとしているからです。しかし高教組も、中等教組の発足から四十年、天皇の教師から「団結する教師へ」、何よりも戦争の痛恨のなから、平和と生命の尊さを頭固なまでに守ってきました。

いま高教組の課題は、核廃絶と臨教審との対決にあります。戦争を知らない組合員が半数をこえた高教組の新しい世代に、斗いの歴史が確実にひきつがれようとしています。

四十年を節目に、高教組の運動史をのりもあがっています。歴史から学ぶ大衆運動こそが新しい歴史を拓くからです。教訓の宝庫をもつ先輩のご援助を、この点でも切望する次第です。

一九八五年度定期総会開かれる

山崎博幸

四月二十日、教育会館で、会場いっぱい員の参加を得、一九八五年度定期総会が開催されました。以下そのあらましを報告いたします。

冒頭に、渋谷会長より「本年退職された方は十六名ですが、高教組に結果し、平和のために闘ってこられました。心からの敬意をおくりたい。第二の人生を計画されているかと思うが、なにより健康に留意されて頑張って下さい」と労をねぎらいました。

また「戦後最大のタカ派中曾根は戦後政治の総決算といふこと、被爆・敗戦から四十年、戦争の悲惨さ平和の尊さが身にしみている私たちが反核・軍縮・平和のために心を致さずにはおれない。また年金受給の大改悪が企てられ、老人医療改悪の計画もある。いきいきと楽しい老後のために民主団体等と連携して共闘する必要がある。統一と力強い挨拶がありました。

続いて南高教組委員長より「昨年一年間は教育臨調に対決した闘いであった。戦場を輪にした闘いを通して大きな成果をあげた。組合員も六九名を迎え千名を越えた。先輩の健いた伝統を肌と感じている。今後の支援・鞭達をお願いします」との挨拶がありました。

次に門田退教協会長代行よりメッセージを受け、議事に入りました。

(1) 一九八四年度の活動報告を承認しました。
特に今年初めに泊研修旅行の実施が特徴としてあげられます。なお高教組定期大会に於て高退協の旗が贈られました。

(2) 一九八四年度の会計・監査報告を承認しました。(決算報告書参照)
特に監査委員からは、会費納入は事務局の大変な努力で向上しているが、事務局会の旅費も支払え

ない現状は会員として申訳ないことと、百も徴収への努力が必要で、お互いに声をかけ合って納入へ向けて努力することが必要との指摘を受けました。

(3) 本年度役員が決まりました。(名簿参照)
小川氏、松高氏が退くことになりました。ご苦労さまでした。本年度は二名減員ですが、経費節減も考え当分補充せず任務を分担し合い頑張ります。

(4) 本年度事業計画が承認されました。(総会資料参照)
最後に、浜田副会長より「盛会で有意義な会であった。年金法その他厳しい状況だが、自分達の生活は自分達で守る決意で頑張ろう」と閉会の挨拶があり、会を終了しました。

このあと退職組合員を励ます会に多数参加し健在ぶりを示しました。

新会員のことは

島本 理夫

退職して一ヶ月がすぎたが、机の前の四月のカレンダーは結構それなりにつまっていた。職場からもちろつけた荷物もいまだ手づかずです。

例年だと「ぼつと一息」という連休を目前にしていますが、今年には毎日の延長の中で色あせれ存在です。五時半に起きて一仕事、その後軽いジョギングで一汗かいて、テレビ小説などみながらゆつくり朝食というマイペースの朝のリズムはなんといつても最高です。

七時すぎに職員室の机に坐っていた一ヶ月が夢のようです。正に職場こそその日一日、集団の活動の場であり、ずしりとしたその重みはなくなってみてはじめて判るものですね。

三橋 巖

一九五一年度障音児教育部大会の席上、義務からろう学校小学部に来てくれる先生はいないかという話が出され、その任を私が引受けることになった。

五三年度からの赴任となったが、異動作業大詰の某日、高岡郡教育事務所長、郡教組書記長から、障害児学校への先遣であり、君の実践如何が今後の人事交流の成否となる、頼むよと激励された。以後七年間、教師として、組合

員として精一杯勤めてきた。しかし、評価(人事交流)は厳しく、職を辞するに当って、私の教育実践活動が二人の期待に添い得なかつたことを申し訳なく思う。

新会員の紹介

- 島本 理夫(東工)
- 三橋 巖(南海)
- 岡崎 清(南海)
- 長沢 照雄(北通)
- 伊与田敏子(ろう)
- 上田 豊之(團芸)
- 橋本 千江(團芸)
- 松井 重子(伊商)
- 巖崎 清(佐川)
- 二神 静子(日高)
- 西森美代子(日高)
- 千頭 慎(須崎)
- 明神 利道(清原)
- 町田 増実(清水)

会員名簿作成後、新しく次の方が、江の口養護学校で退職され、会員となりましたので紹介します。

佐々木美佐子
高知市水原町一七
電話 四四一四〇八七

1984年度決算報告

収入の部		支出の部	
繰越金	2822	郵送費(名簿、機関誌、ニュース等)	104703
会費	156000	印刷費(同上)	182140
広告料	96000	事務局費(旅費)	13450
機関誌販売	35000		
寄付金	500		
借入金	10000		
計	300322	計	300293

残高 300322 - 300293 = 29

会費納入のおねがい

- ・会費 年額 一〇〇〇円
- ・納入先、郵送の場合
高知市丸の内二丁目一〇〇
教育会館、高教組事務局内
- ・高退協事務局
- ・郵便振替利用の場合
加入者名 市川 一郎
口座番号 徳島五一七〇七七